



**シラバス参照**

タイトル「**2015年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2015年度 教養科目シラバス-2015年度「教養の森」科目群【科目群4】**」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	現代日本の表現		
担当教員	<a href="#">佐藤 和正</a>		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	金 2	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年		
科目名（英語表記）	Modern Japanese Expression		
授業の概要・ねらい	我々の感性（例えば何を面白いと感じるのか）は、過去の延長線上にありながら、同時に時代の変化を受けている。この授業ではメディアにおけるコミュニケーション様式の変化を観察することで、そうした時代の変化を理解する。主に1970年代から1990年ぐらいまでの、メディアで使われた言葉（主にCMや物語の言葉）の分析を行う。		
授業計画	01 ガイダンス 02 言葉の意味は文脈から（1） 03 言葉の意味は文脈から（2） 04 消費社会とCM（1） 05 消費社会とCM（2） 06 消費社会とCM（3） 07 前半まとめ 08 虚構とメタ物語的な想像力（1） 09 虚構とメタ物語的な想像力（2） 10 虚構とメタ物語的な想像力（3） 11 芸人から素人へ（1） 12 芸人から素人へ（2） 13 芸人から素人へ（3） 14 過去のレポート紹介等 15 まとめ		
到達目標	言葉に対する感受性を身につけ、感覚的な経験を言葉で表現するための方法を学ぶ。		
成績評価の方法	レポート		
教科書	使用しない。		
参考書・参考文献			
履修上の注意・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットで調べたことをそのまま出すのがレポートではありません。自分で問題点や論じるべき対象を探し、自分なりの考察を行い、結論を出すのがレポートです。そういった書き方の注意を授業中に行うので、必ずそれを理解した上でレポートを提出してください。</li> <li>・留学生向けの授業ではありません。かなり高度な日本語能力を必要とします。</li> </ul>		
履修する上で必要な事項			
受講を推奨する関連科目			
授業時間外学習についての指示	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。		
その他連絡事項			



---

Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.